

アジアの経済圏シリーズ I

華南経済圏

開かれた地域主義

丸山伸郎編



アジア経済研究所

アジアの経済圏シリーズ I

華南経済圏

—
開かれた地域主義

丸山伸郎編

アジア経済研究所

編者紹介

丸山伸郎

一九四三年 大阪に生まれる。

一九六六年 立教大学経済学部卒業。

一九六六年 アジア経済研究所入所。

一九七〇—七二年 香港中文大学にて客員研究員。

一九八四—八六年 米国ハーバード大学、ジョージワシントン大学にて客員研究員。

一九九一年より アジア経済研究所経済協力調査室長。

(著作)

『中国の工業化と産業技術進歩』、アジア経済研究所、一九八八年。

Industrialization and Technological Development in China,
Institute of Developing Economies, 1990.

(共著)

『中国経済のジレンマ』、有斐閣、一九八三年。

(編著)

『転機に立つ中国経済』、アジア経済研究所、一九八五年。

アジアの経済圏シリーズ I

華南経済圏——開かれた地域主義

1992年3月30日発行©

編者 丸山伸郎

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42

電話 03(3353)4231 (代表)

印刷・製本 コロニー印刷 ISBN4-258-23001-4
落丁・乱丁本はお取替えいたします。

中国における改革・開放政策は、地方分権化を促すとともに、対外開放政策の中心地である広東・福建両省を、より緊密に香港・台湾経済と結び付けた。いま華南には、新たな経済圏が躍動しつつある。

本書は最新のデータに基づき、広東・福建と香港・台湾の間の相互依存関係の実態とその方向を政治・経済の両面から描き出す。さらにこの「華南経済圏」の展開を、中国における地域主義のダイナミズムの中に位置づけることを試みる。

●本書の構成●

- 第I章 中国における地方主義と地域経済圏の系譜
 - 第1節 地域開発と地方主義
 - 第2節 制度改革と地域経済の発展
 - 第3節 地域主義をめぐる政治力学
- 第II章 香港—広東リンケージ
 - 第1節 1980年代の広東経済改革と経済発展
 - 第2節 広東省の市場経済化と政治社会システムの変容
 - 第3節 香港経済の構造転換
 - 第4節 返還に向けての香港の政治動向
 - 第5節 ASEAN経済圏と華南経済圏のリンケージ
- 第III章 台湾—福建リンケージ
 - 第1節 台湾からみた海峡兩岸経済交流
 - 第2節 台湾の政治動向と「統独問題」
 - 第3節 福建省の改革・開放の現状と対台湾関係
- 終章

目次

まえがき

第I章 中国における地方主義と地域経済圏の系譜

第1節 地域開発と地方主義

はじめに……2

1 中国における中央と地方……5

地方分権のメカニズム／中央統制のメカニズム

2 産業立地政策……12

総合平衡と均衡分布／不足の経済と地域政策

3 一九八〇年代の地域政策……26

地方自治権の拡大／沿海発展戦略

丸山伸郎……2

まとめ——一九九〇年代の地域開発の方向……36

第2節 制度改革と地域経済の発展

上原一慶……41

はじめに——改革・開放前の計画経済システム……41

1 一九八〇年代の制度改革の到達点……43

集権的・物動的計画経済システム改革の基本的方向／自主的に経済活動を行なう企業の創

出／企業誘導システムと国家職能の改革状況

2 制度改革と地域主義の台頭……58

地域経済の発展と地域主義の台頭／資源配分をめぐる中央—地方、地域間関係

3 地域経済発展の可能性——むすびにかえて……65

第3節 地域主義をめぐる政治力学

天兒 慧……71

はじめに……71

1 地方、地域をめぐる概念と視角……73

2 変動論からみた改革・開放の時代……76

3 毛沢東時代の地方—地域主義……80

4 改革・開放時代の地方—地域主義……83

5 地域主義の矛盾現象としての「諸侯経済」……89

おわりに——多元的変動の中の分権的政治体制への道……93

第II章 香港—広東リンケージ

第1節 一九八〇年代の広東経済改革と経済発展

王 学明……………104

1 伝統的経済体制とその経済発展の形態……………104

2 農業改革の進行と農村の経済変革……………110

「生産高連動家族請負責任制」の推進から二重経営体制の樹立まで／農産物価格の自由化と農産物流通の活性化／農業生産構造調整と農村資源の新たな配置

3 価格の段階別自由化と市場調整の比重拡大……………117

農業副産物の価格改革／工業消費財に対する価格改革／生産財価格に対する改革／価格管理の強化と段階ごとの改革戦略の実行

4 外向型経済発展戦略の実行と産業構造の変遷……………125

輸出奨励政策と対外貿易体制の改革／外資の積極利用と技術の導入／耐久消費財を主とする産業の成長構造／投資の低効率・低利益と産業バランスの失調

5 権限の委譲と新たな利益構造の構築……………137

財政請負を主とする権限下放／国营企業管理体制の改革／多様な所有制経済体のおおひなる発展／広東と中央の経済関係

第2節 広東省の市場経済化と政治社会システムの変容

沢田ゆかり……………156

はじめに……………156

1 改革開放前の社会構造……156

「単位」社会の確立とその政治社会的機能／広東の単位社会

2 市場経済の導入とその政治社会的影響……161

外国資本の参入の政治社会的影響／郷鎮企業の発展と農村幹部の意識変化

3 既存の政治社会組織の変容……172

都市における私营企業の発達と国营企業の変質／政府機関の変革と対応

おわりに……185

第3節 香港経済の構造転換

はじめに……189

山本裕美……189

1 一九九七年問題と香港経済……189

レッセフェールから中立的産業政策へ／財閥グループの発展戦略／香港経済の成長見通し

2 香港の貿易・投資関係……201

香港の貿易構造／香港における外国投資と香港の海外投資／香港の労働力輸入問題と海外

移民

3 華南经济圈と香港経済……208

香港・広東間の委託加工貿易／香港製造業の展望／労働市場の形成問題／国際金融センター

としての役割

むすび……216

第4節 返還に向けての香港の政治動向——民主派を中心として——谷垣真理子……219

1 前途問題の浮上と政治制度改革……221

2 「香港人意識」の形成……227

香港の大陸からの乖離／中国との社会的差異の増大／土生土長世代の台頭と政治意識のめばえ／大陸との接触増大

3 民主派の台頭と香港人の選択……236

4 民主派の意義と限界……242

第5節 ASEAN経済圏と華南経済圏のリンケージ——森 壮也……250

はじめに……250

1 中国のASEAN各国との近年の政治経済的関係および貿易・投資関係……252

中国—インドネシア関係／中国—シンガポール関係／中国—マレーシア関係／中国—タイ関係／中国—フィリピン関係

2 最近の華南経済圏とASEANの経済関係研究……261

3 中国の諸外国との経済的リンケージ——華南経済圏の貿易と投資を中心に……262

マクロでみた外国投資／マクロでみた輸出構造／華南経済圏での外国投資と貿易——概観／広東省での外国投資と貿易

4 広東省とASEANの経済的リンケージ……271

広東省の概観／広東省とASEANをはじめとした諸外国の貿易・投資関係／広東省内の三

第三章 台湾—福建リンケージ

第1節 台湾からみた海峡兩岸經濟交流

張 栄豊……………294

- 1 海峡兩岸經濟交流の時代的背景……………294
- 2 台湾經濟の構造調整と対大陸交流……………296
- 3 兩岸中繼貿易の経緯……………299
- 4 輸入商品構成……………307
- 5 兩岸貿易の比較優位……………311
- 6 兩岸經濟の相互依存度……………313
- 7 中繼貿易の問題点……………316
- 8 台湾企業の対大陸投資……………319
- 9 台湾企業の輸出貢献……………325
- 10 兩岸交流の政治・經濟的インパクト……………329

5 ASEAN經濟圏と華南經濟圏の将来……………281
つの經濟特区と諸外国投資／対米貿易黒字という障害

華東經濟圏と華南經濟圏——競争と優位性／華南經濟圏とASEANはライバル関係にある
のか／ベトナムと華南經濟圏／日米の世界戦略の衝突の舞台としての華南經濟圏

第2節 台湾の政治動向と「統独問題」

渋谷 司……………333

1 政治的民主化の前提……………333

はじめに／著しい経済発展と中産階級の台頭／国民党の「台湾化」

2 民主化へのプロセス……………337

「三禁」の解除と公正な選挙／第二回国民党大会代表選挙

3 台湾政治の特徴と「三不政策」の転換……………342

台湾政治の特徴／「三不政策」の転換と社会不安の増大

4 「弾力外交」と「一つの中国」の原則……………345

「弾力外交」の展開／「一つの中国」の原則への固執

5 国連加盟問題……………349

6 中台関係四つのシナリオ……………351

7 平和的統一……………354

8 武力的統一……………359

9 台湾独立……………361

10 現状維持……………364

むすび……………365

第3節 福建省の改革・開放の現状と対台湾関係

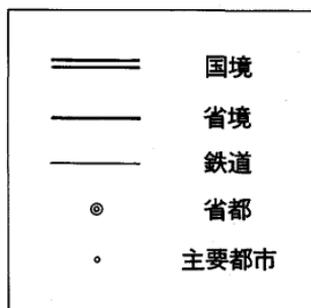
呉 軍華……………368

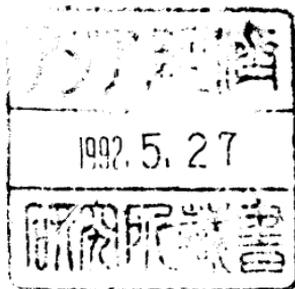
はじめに……………368

- 1 「海防前線」三十年の停滞……369
福建——東南沿海の貧困地域／対台湾海防前線三十年
 - 2 改革・対外開放下の福建省……372
海防前線から対外開放前線へ／「特殊政策・柔軟措置」の展開／改革・対外開放の総合実験区としての福建
 - 3 一九八〇年代における福建経済の浮揚……382
経済構造のリストラクチャリング／非国营セクターの成長／対外経済活動の活発化
 - 4 福建・台湾兩岸経済交流の実態……389
一九八〇年代の中国大陆と台湾の経済交流の展開／急増する台湾資本の対福建投資／福建省における台湾投資の特徴——廈門を中心に
- むすびにかえて——福建省は「華南経済圏」の一角を支えられるか……396

華南地域の概略







執筆者紹介 ● (執筆順)

- 丸 上 天 王 沢 山 谷 森 張 波 呉
山 原 児 田 本 垣 谷
伸 一郎 慶 慧 明 学 裕 眞 壯 栄 軍
郎 ● アジア経済研究所経済協力調査室長
慶 ● 京都大学経済研究所教授
慧 ● 共立女子大学国際文化学部助教授
明 ● 広東省社会経済発展研究中心 (中国)
学 ● 広東省社会経済発展研究中心 (中国)
裕 ● アジア経済研究所総合研究部
眞 ● 東海大学文学部講師
壯 ● アジア経済研究所経済協力調査室
栄 ● 中華経済研究院 (台湾)
軍 ● 拓殖大学海外事情研究所講師
華 ● 日本総合研究所調査部

アジアの経済圏シリーズについて

アジア経済研究所経済協力調査室では、昭和六十一年度から五年間にわたって、アジア各国・地域の工業化の実態と今後の可能性を探る「アジア工業化展望総合研究」を実施してきました。その成果はすでに「アジア工業化シリーズ」(全十五冊)として公刊され、好評を博しております。

「アジア工業化展望総合研究」が実施された八〇年代後半には、アジア地域の工業化の進展を示す新たな傾向として、この地域における経済的相互依存関係が急速に高まる様相を呈しており、これは、地理的に隣接していながらこれまで種々の条件により経済的結びつきが必ずしも強くなかった国・地域の間で、局地的な地域経済圏の形成を目指す動きとして表れてきています。こうした動きは、地域間の分業の展開を通じて域内諸国の経済発展を促進するだけでなく、世界経済に対しても積極的な影響を与える可能性をもっております。

こうしたことから、経済協力調査室では、平成三年度よりアジア工業化展望総合研究の一環として、新たに「アジア経済圏研究」を実施し、その成果を「アジアの経済圏シリーズ」として公刊を開始することとなりました。このシリーズでは、昨今注目されているアジア地域内の地域経済圏について、最新データに基づく域内各国・地域の経済発展および対外関係の分析を通じて、経済圏の実態、今後の発展可能性および予想される方向について検討を加えます。三年度にわたって、年度ごとに二冊の報告書を公刊する予定です。

各位のご愛読が頂ければ幸甚です。

平成四年 春

アジア経済研究所長

宗像善俊